

## 天声人語

アニメ監督、高畑勲さんの住まいの周りには、東京でありながら畠や雑木林が少し残つていいぶもあつたが、あるとき切り払われて駐車場になつた。スズメたちはどうしたのだろう。そんな思いが映画の着想につながつたと著書にある▼1994年公開の「平成狸合戦ぽんぽこ」である。高度成長期、ニュータウン開発ですみかを奪われるタヌキたちが立ち上がり、人間に対抗する▼わくわくするのにスカッとはしない。不思議な味わいが印象に残つている。タヌキは化ける能力を使って人間を脅し宅地開発を断念させようとする。そんなことで止まるはずではなく、仲間は散り散りに。人間に化け都市生活を始める者もいる▼高畑さんが82年の生涯を閉じた。児童文学に新たな命を吹き込んだ作品があり、戦時下の子どもを描いた映画がある。そして何より自然と人間はどうあるべきかを考えさせてくれた▼「おもひでぼろぼろ」では農村風景について登場人物にこう語らせている。「人間が自然と鬭つたり、自然から色んなものをもらつたりして暮らしいるうちに、うまいことできあがつてきた景色なんですよ」。自然と人間の共同作業があるのだと▼「平成狸合戦」の終盤、タヌキたちは開発された殺風景な団地に、失われた山村の幻影をよみがえらせた。持てる念力のすべてを使って。そんな風景を忘れない。自然と人間とのつながりを失いたくない。高畑さんが映画にこめ続けた念力である。

2018・4・7